



琉球大学学術リポジトリ

University of the Ryukyus Repository

Title	日米関係（沖縄返還）5(東郷・スナイダー（九・一三，一四） 外務省外交史料館レファレンス番号：nd)
Author(s)	-
Citation	平成30年度外交記録公開 公開日：2018年12月19日 外務省外交史料館管理番号：2018-0844 CD・DVD番号：H30-001
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43777
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

東郷

・ス
十
イ
カ
ー

一
九

一
三

一
四

特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

極秘

る」どのくんだりをコミュニケ案に入れること（韓台の扱いが余り違ふと一方は議会、他方は国ふの反ばつを招くので）のラインで作業している。

3. 国務省事務当局としては昨日の会談の結果「ロ」長官が極めてオキナワ問題解決に熱心になつたことに非常な意義を見出している。ただし「ロ」長官は未だに一方的発言の必要性を疑つているので事務当局としては日本の世論をキャリーするため（）ぜひ必要な旨えい意説明しているが、日本側からも御援助願いたい。

4. 交渉の進ちよくを見て今までタカをくくつていたペンタゴン内の反対派はろうばいし、まき返しをはかつて来ているが、国務省は乗り切る自信がある。

5. 議会方面ではいわゆる保守反動議員の満足するような解決は到てい期待できないが、中間の多数派をマンスフィールド上院議員の如き理解者が引張つて行けるだけの材料が必要で、そのためにいろいろと文言などにつき対日提案をして来たのである。なお、「ロ」長官は「マ」議員はじめ議会領しゅうとしばしば本問題につき話し合つている。

(11/9 12.00 大河原事務官 多田首席事務官 へ連絡済) (3)
電信課.

SECRET

(34 1283)

5. 17. 2

(Washington, September 14, 1969)

Viet Nam

(Communique)

The Prime Minister and the President expressed the hope that the war in Vietnam would be concluded before the return of the administrative rights over Okinawa to Japan. In this connection, they agreed that, should hostilities in Vietnam not have been concluded by the time reversion of Okinawa is scheduled to take place, the two Governments would fully consult with each other so that the U.S. efforts for the realization of peace in Vietnam would not be affected by reversion.

SECRET

(Washington, September 14, 1969)

(訓令に基き加付)

20 = 見付

Taiwan

A. (Communique)

The President, however, ----- the treaty obligations of his country to the Republic of China which the U.S. would uphold. The Prime Minister expressed his full understanding of the position of the U.S. and stated that the maintenance of peace and security in the Taiwan area is also an important factor for the security of Japan. ~~-----~~

B. (P. M.'s Statement)

Therefore, in view of our national interest, we would deal with -----

SECRET

特

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

807

電信写

総番号(TA) 41720

69年 月 18 日 10 時 10 分

69年 9 月 19 日 10 時 33 分

米 国 本 省

主管 米局長 発着

外務大臣殿 下田 大使 臨時代理大使 総領事 代理

オキツワ返かん交渉 (ジョンソン次官との会談)

第2947号 特秘 至急

国連あて貴電米局第803号及び貴電米局第1880号に
関し。

18日本使ジョンソン国務次官と会談し、冒頭貴電御訓令
に従いせつしようの結果次の通り。

1. 本使より (イ) 朝鮮、(ロ) 台湾、(ハ) ミニムク第5
項につき過般アイチ・ロジャース会談で妥結に達した諸点
は東京の承認するところとなつた旨告げ、ジョンソンは特
に (ロ) につき A MOST IMPORTANT F
ACTOR FOR THE SECURITY OF
JAPAN の表現の採択されたことをよるこんでいた。

2. ヴィエトナム

冒頭貴電の主旨は既にアイチ大臣が当地滞在中ロジャース
長官に対し力説された点であるが、再応ジョンソン次官に
対し御来示の趣旨を説明し、貴電第1843号の文言にて
妥結方申し入れたところ、同次官は (イ) FOR THE
REALIZATION OF PEACE IN VI

官房長 典房長 秘書長 文書長 給

厚計 参調析企 参領旅移

中東 北東 西 北北保 参一二 参西東洋 西東

近ア 参書近ア 次総経国万 参質統 参政技二 国一理

参参協規 参政経科 軍社専 参道内外 一二

特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

ET NAMなる字くはPEACE AT ANY PRICEを希望するかの如き感しよくを与え面白くない。(ロ)また。(イ)の字くよりもTO DETERMINE THEIR OWN POLITICAL FUTURE WITHOUT OUTSIDE INTERFERENCEの方が時間的にいつでも早い時期を意味することになる。現に朝鮮では未だ平和は実現していないが、韓国民が自ら選んだ政治体制はボク政権の下に既に確立されているとの理由で、わが方案の採択に難しよくを示し、結局この点については日米双方共重要関係者が不在となつた現在当地ではつめようがないので、アイチ大臣マイヤー大使の帰京後またはそれ以前にトウゴウ・スナイダーのレベルで更に東京でせつしようを続け、歩みよりを計るのが最良の方法であろうとの結論に達した。

3. 命ニヨニニニ第6項

本使より貴電第1880号により、CONTEMPLATEDなる字くの採用を困難とする理由を詳細に説明し、わが方原案の表現の採択方説得を試みたが先方難しよくを示したので、妥協案としてSHOULD BE COMPATIBLE WITHに代えてSHOULD NOT HINDERの字くの採用方を要請したところ、SHOULDは仮定法の表現であまいとなるのでSHOULDの代りにWILLを用い、WILL NOT HINDER

特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

極秘

THE EFFECTIVE DISCHARGE OF INTERNATIONAL OBLIGATIONS とするならば考慮の余地ありとしつつも、元来 CONTEMPLATE はロジャース長官自身の強く希望する字くであり、同長官は既にニューヨークに赴きしばらく不在となるので、自分一存では決め兼ねるとのことであつたので、この点も2の点と同様、東京におけるせつしように引継ぐこととした。

4核

本使より日本側はわが方従来のポジションを維持するものであるとし、本件はアイチ・ロジャース会談においても結局は兩國政府首のうの決定をあおぐ外なしとのことに帰着したが、この際貴次官の個人的感しよくでもうかがえまじきやとたずねたところ、同次官は昨日も JOINT CHIEF OF STAFF との会合があつたが、核についての彼等の見解は依然としてすこぶる強いものであり、このような情勢では本件は大統領にとつても VERY DIFFICULT ISSUE となるのではないかとの危ぐをいだかざるを得なかつた次第である。大統領はサトウ総理の本件に及する DEEP CONCERN を十分理解していることとは思ふが、然し大統領としても総理御自身と、とくと話し合つた上でなければ、なかなか決断を下

特

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

極秘

しがたいのではないかと思われると述べ、自分はアイチ・ロジャース会談の結果を大統領に報告し、親しくその感じをよく求める機会を未だ持っていないので、以上は自分の全くの個人的観測であることをお断りしておく、と付け加えた。

5. 最後に本使ジョンソンの中に、前記2. 3. 4. の3点を除き、共同コミュニケの準備作業は、将来多少形式的な字句の修正はあり得るとするも、実質的には完了したことを確認しあつて会談を終えた。

国連に転電した。

(3)